

寒肥で花つき実つきがよくないです。

Point



「寒肥」と書いて「かんごえ」「かんぴ」と呼びます。寒肥は12～2月の寒い時期に与える肥料なのでそう呼ばれています。寒い時期に植物の生長はほとんどありません。しかしこの時期の肥料は土の中で植物が吸収されやすいよう分解され春の成長期に効き目を表します。この作業が1年間の生長、花つきを決めてしまうほど大切です。

地植えの場合



樹冠（樹木の枝先）の真下にグルリと円を描くようにところどころ穴を掘り、有機肥料を埋めます。

寒肥

Point

地植えの場合、肥料と一緒に土壌改良を兼ねて堆肥と一緒に埋めるとより効果的！



寒肥が必要な花木・果樹

花木



バラ、アジサイ、ボタン、サクラ、ハナミズキ、キンモクセイなど

果樹



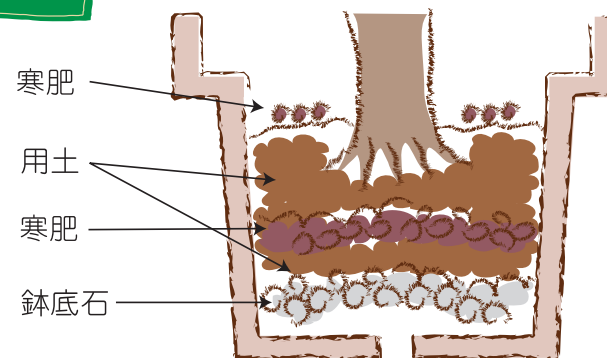
ブルーベリー、ラズベリー、オリーブ、サクランボ、ミカン、など



有機質の肥料がおすすめです！

冬の間、土中の微生物は植物が吸収しやすいよう分解してくれます。そのためには微生物が好む肥料でなくてははいけません。微生物はゆっくりとした効目の有機質肥料が好物です。

鉢植えの場合



土の表面に固形の肥料を植物に触れないように置きます。または、植え替えを同時に行なう場合は用土と用土の間に粉末の肥料を与えます。

Point

植物の種類によっては冬季の植え替えは適さないものもあるので注意しましょう。